

2021年度居住支援セミナー・勉強会実施報告書

実施日	2021/7/20(火)	場所	講座	日進市民会館 2階会議室
時間	13:30-15:30		託児	なし
講座内容	居住支援事業に関する情報交換会			
講師	愛知県建築局公共建築部 住宅計画課			
レジュメ	あり() Rinで用意) ・ なし	担当者 幸村・久野		
プロジェクター	あり() Rinで用意) ・ なし			
PC	あり() Rin居住支援PC) ・ なし			
託児者	なし			

その他 体温計、筆記用具、レジュメ資料一式

参加者数	36 名	内訳 行政関係者 10名、生活困窮者自立支援相談窓口4名、不動産関係者5名、市町村議会議員9名、障害者支援相談支援センター1名、講師1名、法人スタッフ6名
------	------	---

内容

■愛知県における住宅セーフティネット制度の取組状況

1 民間賃貸住宅における入居制限の状況

入居に対する拒否感 高齢者…8割 障害者…8割 外国人…7割 子育て世帯…1割
 入居制限の理由…家賃支払い・近隣トラブル居室内の死亡や事故などに対する不安

2 新たな住宅セーフティネット制度とは

住宅確保要配慮者が民間賃貸住宅を探しやすく、安定して居住できるようにする仕組み

- ・入居を拒まないセーフティネット住宅の登録
- ・情報提供システムによる情報提供・検索
- ・居住支援法人による入居相談、マッチング、家賃債務保証とその後の見守り等

3 居住支援の取組の促進に向けて

- ・要配慮者への支援によって、賃貸人の不安・負担軽減
 不動産事業者関係者が必要とする居住支援策…家賃債務保証の情報提供、見守りや生活支援、死亡時の残存家財処理
- ・体制整備…福祉関係団体について、相談内容に住宅確保が含まれている事例での対応の解決に役立つ。
- ・公的住宅機関等の情報共有の場づくりが必要…居住支援協議会

■NPO 法人ファミリーステーション Rin の取り組みについて

住宅確保要配慮者居住支援事業 Smairin

居住支援事業の相談は、DV 被害者・ひとり親家庭・子育て家庭が多い→昨年度、低額所得者の相談もあり、2021 年度から低額所得者も対象とする。

DV 被害者のためのステップハウスミモザとシングルマザーのためのステップハウス NK House(2021 年度より)を運営

Rin の居住支援事業の内容

・支援内容

入居前相談…住まい探し、不動産店への同行、入居契約のサポート、新居の備品調達
 入居中支援…行政手続きへの同行、買い物や通院の手伝い、入居中の見守り（訪問、電話相談）

・課題

- ミモザ利用中は、相談があっても入居してもらえない。
 - 子どもの数や年齢、性別により入居できる支援施設が少ない。
 - 活用できるセーフティネット住宅が地域にほとんどない。家賃が高い。
 - ペット連れ、自家用車持参などが難しい。
 - 初期費用、引っ越し費用の捻出、無収入では民間住宅を借りられない。
 - ※特に生活保護世帯の入居支援に課題。
 - 収入がなく民間住宅が借りられない⇔別居の事実がなければ生活保護の対象とならない
- ・今後の取組 ステップハウスも活用しながら、民間住宅への転居を手助けしていく。

次回勉強会 2021 年 10 月 12 日(火)14:00～16:00 「居住支援の協力体制を考える」 於：日進市中央福祉センター 多機能室
 その他